

定例記者会見発言録

日 時：令和4年7月25日（月）14時～
場 所：伊達市役所東棟4階 401・402 会議室
出 席：市長、副市長、総務部長、財務部長、市民生活部長、健康福祉部長、
健康対策担当参事、協働まちづくり課長、農政課長、商工観光課長
報道機関：福島民報社、福島民友新聞社
発表項目：市長から下記の内容について、別紙資料により説明

- 資料1 新型コロナウイルス感染症7月20日「福島県感染拡大警報」
に基づく対策
資料2 伊達市新工業団地（保原工業団地）第2期予約販売開始
資料3 伊達市地域プロジェクトマネージャーを任用
資料4 「おくやみコーナー」を設置
資料5 伊達市産「桃」のトップセールス

《質疑応答》-----

伊達市新工業団地（保原工業団地）第2期予約販売開始について

■売約済区画と大規模区画関連

記 者 第1期で一区画売約済みとなっていますが、どういった企業が入るのか。

市 長 製造業でございます。売約済みの企業との関係もございまして、まだ企業名は
申し上げられませんが製造業ということで予定をしております。

記 者 大区画についてだったんですが、以前の資料だと6haの区画だったと思うんです
が、このように分けた理由はございますか。

市 長 6haで販売しようということで提示したときに、それぞれの企業から問い合わせが
ありまして、6haではなくてももう少し小さな区画という話がありまして、そういっ
た会社が複数ございましたので、3haに分けて対応したものです。

伊達市地域プロジェクトマネージャーを任用について

■小手小学校リノベーション関連

記 者 コンセプトは自転車と泊まれる宿ということで、サイクルツーリズムでの地域
の振興が考えられるかと思いますが、それについての市長の考えはいかがでし
ょうか

市 長 やはり今、自分の体を使って体験をするというのも一つのレジャーとして必要
なのかなと思っています。そういった中で、サイクリングというのがブームに
なっています。小手小のところは里山もありますし、周りの自然を見ながらサ
イクリングをする。また、霊山を活用したサイクリングを考えたときに、小手
小をベース基地にして、霊山とか月舘とかを巡ってもらうための場所として私

は最適だと思っていますので、サイクリングの需要に合わせた形で対応していきたいと考えています。

「おくやみコーナー」を設置について

■タブレット端末を活用した手続き関連

記者 タブレット端末を活用した手続きガイドによる案内は県内初の取り組みとありますが、もう少し具体的に教えてもらえますか。

市民生活部長 タブレットの中に一つ一つ確認事項がありまして、国保に入っていますか、年金はとかチェックをしながら、一緒に見ながら処理をしていくという形で取り組んでいくものです。

記者 これは土日は受付はしていないということですか。

市民生活部長 基本的には平日の開庁時間となります。